

ソフトカバー(小冊子)などの図書資料への簡易処置

株式会社資料保存器材

はじめに

大正から昭和にかけて製本された小冊子は、ステープル等の金属物による平綴じの資料が多く、本紙、表紙ともに酸化・酸性劣化による紙力の低下や茶褐色化、金属物の腐食やそれに伴う本紙の落丁などの損傷が生じ、閲覧が困難となる資料が多数あります。このような資料に対する簡易処置をご紹介します。



必要な道具



マイクロニッパー、カッター、ハサミ、針、ドリル、刷毛等

行う処置内容や手持ち道具の状況に応じて揃えます。

カッターやハサミはよく切れるものを用意します。針は糸の太さに応じて選択し、綴じ糸を縫わないよう、針先をやすりでつぶしておきます。



麻糸、綿・ポリエステル糸、こより等

資料の厚みや紙力に対して、適切な強度、太さのものを用品です。

処置行程

① 金属除去

		
<p>裏面から両足の根元をマイクロニッパーで切る。切りにくい場合はスパチュラの先を足の下に差し込んでそっと足を持ち上げてから切る。ステープル・リムーバー等は用いない。</p>	<p>裏返してマイクロニッパーでつまむか、スパチュラの先を差しこんで、真っすぐステープルを引き抜く。</p> 	<p>除去した金属を刷毛等で本紙の上からはらう。</p>

② 綴じ直し(三穴綴じ)

		
<p>新たに綴じ穴をあける。電動ドリルで三穴を等間隔にあける。酸化・酸性紙化により紙力が低下した紙に穴をあける場合は、資料に負担の少ない電動ドリルの使用をお勧めします。</p>	<p>2から針を通し、1に針を出し、3に通して2にだす。糸に針を刺してしまわないよう気を付ける。糸が引き締められなくなったり、切れたりする。</p>	<p>綴じ穴 1 から 3 に渡っている綴じ糸を挟むように、糸端を出す。綴じ穴 2 の上で糸を固結びする</p> 
		
<p>固結びした結び目の頭を重石で潰す。</p>	<p>糸端の遊びにでんぷん糊を付け、綴じ穴を渡っている糸に接着し、固定する。</p>	<p>綴じ直し後の状態。</p>

③ 簡易修補

<p>捲れている背表紙にでんぷん糊を塗布し、背に接着する。</p>	<p>背表紙が部分的に浮いている箇所は、竹ひごなどの先の細い道具を利用して、でんぷん糊を付けた先端を、浮いている箇所に差し込み背表紙に再接着する。</p>	<p>極薄の和紙(楮)を、対象資料の背幅に約15 mm足した幅で切る。</p>
<p>カットした和紙をおもて表紙から背表紙、うら表紙と覆い、でんぷん糊で貼る。</p>	<p>和紙を貼った背表紙を、不織布の上からへうでよく擦る。</p>	<p>板と重石を置いて、乾燥させる。</p>

処置前	処置後
 	 

④ 本紙(一枚もの)の破れの修補

小冊子の本紙に破れがあり、頁を捲る際にさらに破れが広がる恐れがある箇所は修補をします。破れの状態によって修補の方法は様々ですが、今回は部分的な破れに対しての修補の方法をご紹介します。

この方法は一枚ものの資料に対しても同じように対応することができます。

		
<p>【小口から中央に大きく破れている場合】</p>	<p>極薄の和紙(楮)を帯状にカットする。帯の幅は破れの大きさや幅に合わせて決める。今回は約 8 mm幅にカットしたものを使用。</p>	<p>濾紙(吸い取り紙)、不織布(貼り付き防止)の順に重ねた上に本紙を置く。破れの断面にでんぷん糊をつけ、接着する。</p>
		
<p>さらに、和紙を貼る場所に予めでんぷん糊をひく。使用する和紙が薄いため、和紙を貼る本紙の方に糊をつける。</p>	<p>糊を引いたところに和紙のをせ、上から筆で撫でて馴染ませる。</p>	<p>本紙に不織布と濾紙を重ね、板の上から重石のをせ、プレスしながら乾燥させる。これにより、和紙がしっかりと定着し、本紙の波うちも防止できます。</p>
		
<p>【周縁部に細かな破れがたくさんある場合】</p>	<p>細かな破れを覆えるよう太い帯の和紙を準備する。</p>	<p>上記の手順で、和紙を 1 辺全体に貼る。</p>

※本紙の厚みに応じて、使用する和紙の厚みも変えて対応します。

修補前	修補後
	

実際に館内で処置する場合の注意事項

- ◇原資料の処置に入る前に、サンプル資料で練習し、手順や素材、資料の反応に慣れておく。
- ◇処置内で迷う場合は、専門家に相談する。
- ◇貴重資料への処置は、専門家に相談する。

参考文献

●原文 Altemis BonaDea 著 「Conservation Book Repair: A Training Manual」 アラスカ州立図書館 1995 年、
URL : <http://www.library.state.ak.us/hist/conman.html>
アルテミス・ボナデア著 伊藤美樹 訳「館内で本を修理する」株式会社資料保存器材 2008 年
※図解は、同書の日本語訳版からの抜粋による。
(URL: <http://www.hozon.co.jp/report/ito/ito-no003-bona01.html#ito003no1>)